



## オスプレイ配備をめぐる木更津市長と懇談

### 「配備先は木更津で調整中」との報道は不快

自衛隊が購入を予定しているオスプレイが、木更津駐屯地に暫定配備される方向との報道をめぐる4月27日、日本共産党千葉県議団と県委員会が渡辺芳邦木更津市長と懇談しました。

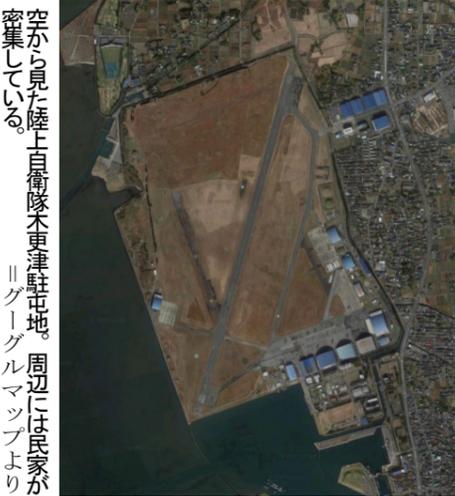
渡辺市長は「防衛政策で国への協力は当然」としながらも、「今回の報道は不快であり遺憾」と述べ、「防衛省が配備先としている」佐賀の結果が出ていないのに『暫定』はありえず、はっきりした上でないと受け入れられない」と話しました。

#### 佐賀の現状で「暫定配備」ありえず

渡辺芳邦木更津市長(左)と懇談する(正面左から)日本共産党の寺尾賢置議長、浅野史子・椎葉寿幸両県副委員長、斉藤和子前衆院議員、丸山慎一県議員。  
4月27日・木更津市役所



佐賀県では配備反対の声が大きく広がり、オスプレイを配備するために必要な駐機場や格納庫を作るための用地買収さえできていないために、まったく見通しが立っていません。



空から見た陸上自衛隊木更津駐屯地。周辺には民家が密集している。川グールマップより

渡辺市長の発言は、こうした状況を踏まえたもので、「暫定配備」が何年続くかわからないのに、「暫定」などと言えないとの考えを示したものです。

## 南北合意で北東アジアに激変

4月27日、北朝鮮と韓国によって合意された「板門店宣言」は朝鮮戦争の年内終戦を明記しました。1953年7月に国連軍(米軍)、中国、北朝鮮の間で休戦協定が交わされましたが、終戦により平和協定に移行すれば、北東アジアの安全保障環境は激変します。

#### 大転換を迫られる日本政府

安倍政権は、北朝鮮脅威論を最大限に利用して政権の浮揚や軍拡をすすめる、憲法9条改定の口実にもしてきましたが、このような手法は、もはや許されなくなります。日本政府は、「軍事対軍事」から脱却し、朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和構築、日朝国交正常化や拉致問題の解決といった諸懸案を解決するため、新たな外交戦略の構築が求められます。

#### 朝鮮戦争で日本は全土基地方式に

朝鮮戦争(1950年6月〜53年7月)では、日本全土が米軍の出撃拠点となりました。アメリカは「日本のどこであれ、必要と思われる期間、必要と思われるだけの軍

「日本のどこにも飛ばさせない」と要望しました。日本共産党は、木更津市との一致点を最大限重視して、地元自治体や住民合意のないオスプレイ配備を止めさせるとともに、相次いで事故が起きている危険な軍用機は、千葉にも佐賀にも沖縄にも、日本の空のどこにも飛ばさせないとの立場で共同を進めていきます。

### 丸山慎一県議 活動日誌

- 4・16▼社会保障講座に参加(大阪)
- 4・17▼千葉県道事務所から道路計画聞き取り
- 4・18▼自治体問題研究所水問題研究会/船橋革新懇伝/ギャンブル依存症フォーラム参加(東京)
- 4・19▼治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟船橋支部結成総会
- 4・20▼県議団会議
- 4・21▼弁護士会講演
- 4・22▼共産党若松支部会議参加/安倍内閣退陣スタンディング
- 4・23▼北千葉道路の聞き取り/安倍内閣退陣スタンディング
- 4・24▼西船橋駅南口宣伝/スタンディング
- 4・25▼国保をよくする会学習会で報告
- 4・26▼県議団会議/防衛省からオスプレイ定期整備で聞き取り
- 4・27▼オスプレイ配備で木更津市長と懇談/津田沼革新懇の宣伝/スタンディング
- 4・28▼船橋駅南口で日本共産党街頭演説
- 4・29▼金杉地域を訪問/スタンディング
- 4・30▼若松地域を訪問/建設関係者を訪問
- 5・1▼船橋地区メーデーで挨拶/船橋北口宣伝/スタンディング
- 5・2▼東葉高速鉄道に関する懇談/共産党建設関係支部の会議
- 5・3▼憲法街頭宣伝
- 5・6▼船橋原水協宣伝/スタンディング

